

1. 全介助が必要な利用者でも、利用者が持っている能力を活かした介護をします。
2. 介護職は、仕事が終わったら指示をした人に報告します。
3. 介護職は、利用者の家族とは関わります。
4. 高齢者は、からだに水分量が少ないので、脱水になりやすいです。
5. 自分で歯磨きができる利用者には、自分で歯磨きをしてもらいます。
6. 利用者の衣服が汚れたら着替えてもらいます。
7. ベッドから車いすへの介護をするとき、介護職の姿勢は①のほうが不安定です。

①



②



8. 利用者の皮膚が乾燥しないため、部屋の除湿をします。
9. 介護職は、食事のとき、利用者の足が床についていないことを確認します。

10. ベッドで^{しょくじ}食事をするとき、^{りようしゃ}利用者の^{しせい}姿勢は^{ぎょうがい}仰臥位がよいです。
11. ^{きゅう}急な^{おんどさ}温度差により、^{からだ}からだに^{ふたん}負担がかかる^{しょうじょう}症状はヒートショックといえます。
12. ^{かいごしょく}介護職は、^{せいしき}清拭をするとき、^{りようしゃ}利用者の^{ひふ}皮膚の^{じょうたい}状態を^{かくにん}確認します。
13. ^{かいごしょく}介護職は、^{こうかん}おむつ交換のとき、^{りようしゃ}利用者の^{いんぶ}陰部に^{べん}便がついていた^{せいしき}ら^{いんぶせんじょう}清拭や陰部洗浄をします。
14. ^{はいせつかいご}排泄介護では、^{りようしゃ}利用者のズボンをいつも^{かいごしょく}介護職が^お下ろします。
15. ^{りようしゃ}利用者の^も持ち物は、^{もの}整理するため^{せいり}捨ててもよいです。
16. ^{りようしゃ}利用者の^{もの}物を^{せいり}整理するとき、^{りようしゃ}利用者に^き聞きながら^{せいり}整理します。
17. ^{りようしゃ}利用者は、^{ほこうき}歩行器よりも^{つえ}杖のほうが^{あんてい}安定して^{いどう}移動できます。
18. ^{かいごしょく}介護職は、^{りようしゃ}利用者が^の乗っている^{くるま}車いすを^{だいいっしょ}2台一緒に^お押しはいけません。
19. ^{かいごしょく}介護職は、^{てあら}手洗いのとき、^{てくび}手首を^{あら}洗う^{ひつよう}必要はありません。
20. ^{かいごしょく}介護職は、^{かいご}介護のとき、^{てぶくろ}手袋を^{つか}使っても^て手を^{あら}洗わなければなりません。

かいごぎのうじっしゅうひょうか しけん
介護技能実習 評価試験
Kaigo ginō jisshū hyōka shiken

(しよきゅう) がっか しけんもんだい かいとうようし
【初級】学科試験問題 解答用紙
【Shokyū】 Gakka shiken mondai kaitō yōshi

じゅけんばんごう 受検番号 Juken bangō	
なまえ かたかな 名前 (カタカナ) Namae (Katakana)	

もんだいばんごう 問題番号 Mondai yōshi	こた 答え Kotae
1	
2	
3	
4	
5	
6	
7	
8	
9	
10	

もんだいばんごう 問題番号 Mondai yōshi	こた 答え Kotae
11	
12	
13	
14	
15	
16	
17	
18	
19	
20	